※令和４年度以降入学生用

学校番号	1301

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「美術３」　（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅲでは、これまで培った描画力を活かし、油彩画を中心に触れたことのない画材を扱って作品を制作していきます。また、授業内で卒業共同制作に取り組みます。
各単元では、まず画材に慣れるための習作、その後画材の扱いを理解した上で、テーマを決めて本制作に挑戦する流れにしています。

2　学習の到達目標

造形的な見方や考え方を働かせ、制作活動を通して美術文化についての理解を深め、創造的な美術の表現をする資質・能力を次の通り育成する。

【知識及び技能】
平面及び、立体作品で扱う素材や表現方法について理解するとともに、習得すべき技能を活用して、表現方法を工夫する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】
制作の主題から、発想や構想を練る力を伸ばし、自分の考えや感じ方を広げたり深める力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
自分の造形感覚を養う中で、生涯にわたって物の見方を豊かに広げたり深めようとする姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	扱う素材や表現方法を理解し、身につけた技能をいかし実践できているか。	主題に対して、自分の発想や構想を形に残し、制作にいかす中で、自分の見方や感じ方を広げたり深めることができているか。	作品の制作過程の確認と、完成後の総括・観賞の中で、自分自身あるいは他者の作品に対して、より物の見方や考え方を広げたり、深めようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ１	油彩画演習①　～静物画をモノトーンで描く～	・木製パネルにアクリルジェッソで下地を施す。 ・見本の写真とパネルに５cmマスのラインを引く。 ・マスを見ながら模写を行う。 ・使用する絵の具は、イエローオーカー、バーントシェンナ、ウルトラマリン、ヴァイオレットのみ。(黒は使わない。白の使用は５０％ほど制作が進んでから) ・テレピン油を多めに使い“おつゆ描き”をしていく。 ・完成度５０％ほどで、徐々に白とペインティングオイルを混ぜていく。 ・細部にわたって見本の写真を見ながら仕上げていく。 ・十分な期間乾燥させた後、ワニスを施して仕上げる。	a: 各工程の効果や意味を理解し､実践できているか。 b: 陰影表現や細部に拘った仕上がりを意識して制作しているか。 c: 総括･観賞を通して自身の作品の良いところ、また他者の作品の魅力について積極的に感じ取ることができているか。	作品	作品、ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

ステージ２	油彩画演習②　～ベストショットを描く～	・油彩画演習①と同様の制作の流れ ・自身のベストショットを決める（風景、人物、動物など個人的に描きたいもので良い） ・作品のベースになる色彩を選ぶ。油彩画演習①でのトーンの出し方をその選択した色で陰影表現等描いていく。 ・油彩画にも様々な描き方やスタイルがある。歴史的な描画スタイルを学習し、どのような仕上がりにするか各々で工夫をする。(写実的であっても良いし、写真のテーマに合った描画スタイルでも良い)	a:各工程の効果や意味を理解し、実践できているか。 b:テーマに合った仕上がりを意識して工夫しているか。 c:総括・観賞を通して自身の作品の良いところ、また他者の作品の魅力について積極的に感じ取ることができているか。	作品、ワークシート	ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

ステージ３	卒業共同制作	・名画を拡大した作品を共同で制作する。 ・パーツごとにパネルを分けて制作し、描画完成後に組み立てる。 ・それぞれ割り当てられ箇所を担当する。	a: ・マス目に沿って下描きができているか。 ・作品の見本を参考に色の作り方ができているか。 b: ・色彩の表現を豊かにしようとしているか。 ・隣り合ったパネルと繋がった表現にしているか。 c: ・割り当てられた箇所に責任をもって最後まで取り組もうとしているか。	作品、ワークシート	作品、ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度